

生き甲斐・健康・教養を高める!

老人会広報紙 すこやか老友

堺市北区老連

秋季53号 会員御配布版

東三国ヶ丘校区老人クラブ連合会
 五箇荘校区老人クラブ連合会
 五箇荘校区老人クラブ連合会
 東浅香山校区老人クラブ連合会
 新浅香山校区老人クラブ連合会
 新金山校区老人クラブ連合会
 新金山東校区老人クラブ連合会
 大光校区老人クラブ連合会
 北八下校区老人クラブ連合会
 光竜寺校区老人クラブ連合会
 泉校区老人クラブ連合会
 金岡南校区老人クラブ連合会
 金岡北校区老人クラブ連合会
 百舌鳥校区老人クラブ連合会
 西百舌鳥校区老人クラブ連合会
 中百舌鳥校区老人クラブ連合会

堺市北区老連

編集 株式会社 大阪市平野区喜連西4丁目6-69
 協力 博報社 ☎06-6797-0212

平成29年度 堺市北区老人クラブ連合会 校区長・部会長・委員

役員・校区長

区老連 会 長	辻 洋児 (光竜寺)
会 計	渡辺 昇 (新金山)
会計監査	高田貴美子 (新浅香山) 森田 勉 (東三国丘) 中谷 吉雄 (五箇荘) 祐代 克子 (五箇荘東) 曾我 誠一 (東浅香山) 高田貴美子 (新浅香山) 渡辺 昇 (新金山) 田守 俊樹 (新金山東) 石田 勉 (大泉) 中川 祐子 (光竜寺) 岸田百合子 (北八下) 徳田 進 (金岡) 内堀 賢治 (金岡南) 横田 佐一郎 (百舌鳥) 西川 正二 (西百舌鳥) 辰馬 守 (中百舌鳥) 小野美恵子 (喜楽会)
校区長	

研修旅行 部会

部会長	高田貴美子 (新浅香山)
副部会長	石田 勉 (大泉)
委員	一本 文男 (東三国丘) 北田 俊明 (五箇荘) 野口 明信 (五箇荘東) 曾我輝久江 (東浅香山) 福西 武子 (新金山) 上谷 則孝 (新金山東) 杉山 昌也 (大泉) 階元 格 (光竜寺) 山口 慶子 (北八下) 徳田 進 (金岡) 吉元 文夫 (百舌鳥) 辰馬 守 (中百舌鳥) 松田 一知 (喜楽会)

演芸 部会

部会長	中谷 吉雄 (五箇荘)
副部会長	岸田百合子 (北八下)
委員	奥村 朝雄 (東三国丘) 野口 明信 (五箇荘東) 吉田 靖弘 (東浅香山) 石田 秀男 (新浅香山) 服部 安子 (新金山) 西本貴代子 (新金山東) 山下美代子 (大泉) 河野 文子 (光竜寺) 有瀬 一馬 (北八下) 宮本 孝一 (金岡) 磯部 和夫 (百舌鳥) 佐熊美恵子 (中百舌鳥) 長谷川俊雄 (喜楽会)

ハイキング 部会

部会長	渡辺 昇 (新金山)
副部会長	辰馬 守 (中百舌鳥)
委員	藤田 修 (東三国丘) 長倉 都子 (五箇荘) 宮間 健雄 (五箇荘東) 西岡 靖人 (東浅香山) 岡本 昌也 (新浅香山) 服部 生子 (新金山) 日下 正博 (新金山東) 小池 義雄 (大泉) 田畑 具伸 (光竜寺) 米田 大 (北八下) 釜池 直道 (金岡) 小林 清司 (中百舌鳥) 井上 吉章 (中百舌鳥) 永恵 英憲 (喜楽会)

クラウンドゴルフ 部会

部会長	徳田 進 (金岡)
副部会長	内堀 賢治 (金岡南)
委員	一本 文男 (東三国丘) 寺田 昭二 (五箇荘) 上野 稔一 (五箇荘東) 中山 昭好 (新浅香山) 高松 定男 (新金山) 天野 宏 (新金山東) 伊崎 博明 (大泉) 西田 善一 (光竜寺) 間島 宏行 (金岡) 阿万野泰宏 (百舌鳥) 高橋 福繁 (中百舌鳥)

ゲートボール 部会

部会長	祐代 克子 (五箇荘東)
副部会長	中田 源三 (北八下)
委員	森 雅雄 (東浅香山) 樋口 孝一 (新金山東) 緒方 勝昭 (光竜寺) 川西 政雄 (金岡) 岡本 正 (百舌鳥) 宮崎 始子 (中百舌鳥)

囲碁 部会

部会長	森田 勉 (東三国丘)
副部会長	西川 正二 (西百舌鳥)
委員	森下 峰夫 (東三国丘) 平川 知和 (五箇荘東) 妹尾 寿雄 (東浅香山) 岡本 昌也 (新浅香山) 渡辺 昇 (新金山) 吉田 泰 (新金山東) 濱野 満 (光竜寺) 中島 富雄 (北八下) 西郷 春男 (金岡) 中島 幸治 (百舌鳥) 山本 雅市 (中百舌鳥)

将棋 部会

部会長	田守 俊樹 (新金山東)
副部会長	横田 佐一郎 (百舌鳥)
委員	徳永 俊 (東三国丘) 鷹尾 秀明 (五箇荘東) 妹尾 寿雄 (東浅香山) 岡本 昌也 (新浅香山) 田中 孝始 (新金山) 藤井 二郎 (新金山東) 尼子 堅 (大泉) 高瀬 安弘 (光竜寺) 中田 源三 (北八下) 西 長美 (金岡) 柴原 吉信 (百舌鳥) 松岡 義明 (中百舌鳥)

ディスコン 部会

部会長	中川 祐子 (光竜寺)
副部会長	河野 文子 (光竜寺)
委員	岸本 千鶴 (東三国丘) 吉岡 好博 (五箇荘) 堀内 弘之 (五箇荘東) 吉田 靖弘 (東浅香山) 山北 正人 (新浅香山) 水野こざえ (新金山) 岡田 幸代 (新金山東) 千原 重信 (大泉) 並崎 真澄 (北八下) 川野 初子 (金岡) 澤田 尚 (金岡南) 井上 吉章 (中百舌鳥) 小野美恵子 (喜楽会)

女性 部会

部会長	岸田百合子 (北八下)
副部会長	田村 慶子 (新金山東)
委員	上杉百合子 (東三国丘) 田中 桂子 (五箇荘) 有馬 照子 (五箇荘東) 曾我輝久江 (東浅香山) 木元キミエ (新浅香山) 高橋 和美 (新金山) 中山美千代 (大泉) 委員・会計 寺迫 良子 (光竜寺) 委員 有瀬ケイ子 (北八下) 委員 田中登美枝 (金岡) 委員 石田 洋子 (百舌鳥) 委員 宮崎 始子 (中百舌鳥) 委員 永恵 澄子 (喜楽会)

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



普通寺



鳴門海峡

中、旅館の前をカタンゴトンと音

研修旅行部会主催の一泊旅行は秋・春二回企画があり、昨年の秋は三朝温泉名湯「万翠楼」ラジウム薬師湯一泊旅行に行きました。今回は早春の高知の名旅館「城西館」宿泊と四国三県を訪ねるバスツアーです。

二月二十七日快晴と天候に恵まれ北区を出発！まず「べっぴんさん」ロケ地神戸異人館街並みを散策後、明石海峡大橋を渡り淡路島を縦断、南淡路で昼食休憩後、鳴門大橋を渡り、讃岐道に入る。高松市南部を車中より眺め名刹善通寺参拝へ。



河内おどご節

高く市電が走り、街灯が懐かしく薄明るく輝き、昭和レトロが随所にあり、ツアーに来て良かった。そろそろお楽しみの宴会開始時間だ。名物カツオのたたきは宴会場内別室で「菓をパァッと燃やす」実演は圧巻！旨い。地酒も懐かしい味、酔鯨が土佐鶴が。あちこちで乾杯！辻会長の「河内おどご節」歌

と踊りで宴会場は最高潮に盛り上がり、開幕となった。朝風呂は野外風呂で高知城が望め、また格別だ。一階特別展示コーナーで昭和天皇・天皇陛下・ご皇族・歴代宰相の方々の滞在写真や愛用品等が展示され見学する。朝食は「城西館」自慢の新鮮豊富な地産地消の和洋食材がうまい。少しずつだがつい食べ過ぎてしまった。城西館さんの総見送りで、高知市ツアーへ出発！高知へ来たら快晴の桂浜。「いっしょ坂本龍馬」太平洋を見渡してごらる。それぞれの集合記念写真は、いつもの大泉・石田副部会長がパチリ。

2月27日~28日 北区老連 春季一泊旅行

四国三県・桂浜を訪ねて



研修旅行部会 辰馬 守

いごっそう・坂本龍馬 太平洋を見渡してごさる

1班



2班



予告

次号 54 号では 9/25・26 開催の 北区老連秋季一泊旅行 信州駒ヶ根 山野草の宿「二人静」の旅 をレポートします。



お楽しみに～！



※イメージ写真

路につく。吉野川サービシエリアでゆっくり昼食休憩をとる。 吉野川沿いに伸びる徳島道を走り、うだつの脇町に到着。伝統的なうだつ建造物の街並みが続き、藍染めの里らしく種類が多く工芸品店が並び、品定に迷ってしまう。街並み散策に戻るが、帰車時間に遅れぬよう途中でバスに戻る。 淡路島を縦断し、淡路ハイウェイオアシスで最後の休憩をとり、明石海峡大橋を渡り帰路一途。 今回から研修旅行委員の要望も取り入れ、観光見学は午前・午後各一カ所くらいに絞り込み、ゆっくり見学できるように配慮した。全行程、終日天候に恵まれ、予定通り余裕を持って見学していたいたたようだ。 土産を両手に、思い出さずばい無事帰宅した。

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



優勝 光竜寺校区ひまわり

四月二十三日、光竜寺小学校体育館で、第四回ディスコン親睦大会が開催されました。開会式には吉田区長が応援に駆け付け、和やかなムードの中競技がスタート。全二十一チームが四コートに分散し、四試合のリーグ戦で競いました。



第4回 ディスコン親睦大会

参加者インタビュー



齋藤正春さん (新金岡チーム)

セレッソ大阪の大ファンで、ユニフォームの背番号“327”は誕生日。今年80歳を迎えますますます元気で。



準優勝 光竜寺校区フレンド



第3位 新金岡東校区さくら

各部会発表内容

(5月14日時点)

- ◎研修旅行部会
秋には、金沢・山代温泉もしくは信州・早太郎温泉へのバス旅行を予定。
- ◎演芸部会
ライフガーデンさかいてカラオケ大会を開催予定。
- ◎ハイキング部会
11月9日、長居植物園にて開催予定。
- ◎グラウンドゴルフ部会
5月18日、金岡公園野球場において第10回大会を開催。9月14日開催予定の市老連大会に上位35名が出場。
- ◎ゲートボール部会
7月8日、船堂公園において大会を開催。11月10日開催予定の決勝戦出場チームを決定。

- ◎囲碁部会
6月24日に第53回大会を開催。11月25日に第54回大会を開催予定。
- ◎将棋部会
6月3日に大会を開催。囲碁・将棋いずれも1月19日開催予定の堺市新春大会への出場者を、秋の大会結果により決定。
- ◎女性部会
「こんにやく作り」を開催予定。ほか社会福祉協議会と協力して認知症に関するイベントを計画。
- ◎ディスコン部会
4月23日に第4回大会を開催。9月18日には区長杯の開催を予定。

平成29年度 堺市北区老連 合同委員会



五月十四日、ライフガーデンさかいホールにおいて、平成二十九年度堺市北区老人クラブ連合会合同委員会が開催され、各部会から約二〇〇名の委員が参加しました。



社会長

委員会は、石田校区長(大泉)による司会のもと幕を開け、曾我校区長(東浅香山)により、九部会の会長、副会長が紹介されました。続いて社会長があいさつに立ち「皆さんの協力により、北区老連は大きな花が咲くように盛り上がっています。各部署の皆さんの姿を地域で示し、委員になって良かったと言えるよう、また発言や行動が歴史に残るよう、今年度も頑張ってください」と力強いメッセージが述べられました。その後、各部会ごとのディスカッションへと移り、約四十分間にわたって、今年度の行事予定などについて、活発に意見交換が行われました。

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



第34回 堺市北区老連 ゲートボール大会



大会結果および 決勝大会出場チーム

- 優勝 芝之内 (金岡)
- 準優勝 長曾根A (金岡)
- 第3位 長曾根B (金岡)
- 第4位 百舌鳥梅町 (西百舌鳥)

.....

五箇荘東 新金岡東
中百舌鳥 東浅香山



平成二十九年七月八日、船堂公園で第三十四回堺市北区老連ゲートボール大会が開催されました。

今回は十五チームが参加し、四面のコートに分かれて第四試合まで戦います。初夏の日差しの中、熱戦を繰り広げながらも「今日はいい感じで打てたな」等、リラックスして競技を楽しんでいる様子が多く聞かれました。

結果は、接戦を勝ち抜いた芝の内チームが、見事優勝を果たしました。なお、四位入賞までを含む上位八チームは、十一月十日に金岡公園で開催される堺市老連・決勝大会に出場する予定です。



第10回 堺市北区老連 グラウンドゴルフ大会

快晴となった五月十八日、第十回堺市北区老連グラウンドゴルフ大会が金岡公園野球場で開催されました。開会前には二〇七名が集まり、どの参加者も素振りをして、試し打ちでグラウンドの調子を確認したりと、準備に余念がありませんでした。

大会結果 (敬称略)

- 優勝 南 哲明 (金岡)
- 準優勝 吉崎 愛人 (金岡)
- 第3位 寺田 昭二 (五箇荘東)
- 第4位 田守 俊樹 (新金岡東)
- 第5位 新木 ミネ子 (金岡)
- 第6位 天野 宏 (新金岡東)
- 第7位 伊崎 博明 (大泉)
- 第8位 緒方 芳友 (新浅香山)
- 第9位 吾妻 敏弘 (光竜寺)
- 第10位 梅野 忠弘 (中百舌鳥)

試合は三ラウンドの合計スコアで競われ、コースからは「ナイスショット!」との歓声や、「あちゃ、アカンわ!」と、悲喜こもももの声も聞かえ、盛り上がりを見せていました。



また、今回の大会上位三十五位までの入賞者は九月十四日開催の堺市老連・決勝大会への出場権を獲得しました。

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



今年度は堺市で開催

近畿ブロック 老人クラブリーダー研修会

六月八日・九日の二日間
にわたり、平成二十九年
近畿ブロック老人クラブリ
ーダー研修会が、堺市のホ
テルアゴラーリーションシ
ー堺で開催されました。
「のぼそうー健康寿命、
担おうー地域づくりを」を
メインテーマに、近畿二府
四県、四市から二八五名が
参集し、講演や各老連の事
例発表を通して知識を深め
ました。

子参事による「老人クラブ
組織の発展に向けてー全国
運動、行動提案等」と題
した基調報告および、次の
四つの分科会に分かれ、研
究討議が行われました。

- ◎第一分科会
健康長寿と老人クラブ活動
- ◎第二分科会
新しい総合事業と地域支え
合い活動
- ◎第三分科会
老人クラブ活動における地
域団体との連携

◎第四分科会
会員増強運動の成果と課題
北区老連からは、喜楽会
小野美恵子会長が、第一分
科会にて発表。地域の状況、
北区老連の活動を解説する
とともに、喜楽会としての
活動や今後の目標について
発表しました。

【二日目】関西大学人間健
康学部・森下伸也教授によ
る講演「笑いは百薬の長」、
および全体会議が行われま
した。

大会結果 (敬称略)

【A1クラス】

優勝 間吾 伸雄 (大泉)
準優勝 尼子 堅 (大泉)
敢闘賞 入口 義則 (五箇荘)

【A2クラス】

優勝 北中 貞昌 (大泉)
準優勝 重戸 正博 (光竜寺)
敢闘賞 田中 孝始 (新金岡)

【B1クラス】

優勝 平井 是 (西百舌鳥)
準優勝 石田 善己 (百舌鳥)
敢闘賞 小倉 通男 (新金岡)

【B2クラス】

優勝 鈴木 良雄 (東三国丘)
準優勝 高松 博 (西百舌鳥)
敢闘賞 柴原 吉信 (百舌鳥)

【Cクラス】

優勝 上原 敏男 (金岡)
準優勝 北条 治 (東三国丘)
敢闘賞 岩崎 恒和 (西百舌鳥)



第53回 前期将棋大会

北区将棋部副部長 横田佐一郎

平成二十九年第五十三回前
期将棋大会を六月三日(出)、堺
市立北老人福祉センターで開
催しました。
出場選手三十八名で、例年
通りA1、A2、B1、B2、
Cの五クラスに分かれ、一人
四局の対戦で勝敗を決めまし
た。



結果は左の通りです。

予告

第54回大会

- ◎開催日 11月25日(出)
- ◎会場 市民センター
- ◎各クラス 4局対局戦



第53回 囲碁大会

北区囲碁部会長 森田 勉

第五十三回大会は、去る六
月二十四日(出)、市民センター
で、選手・役員三十八名が参
加して開催された。対局に先
立ち、北区老連会長から「北
区の知性とパワーの発揮を期
待しています」と激励のあい
さつがあり、熱戦の四局対戦
が開始された。
なお、今回の最高齢参加者
は九十二歳の中島十四男さん
(新金岡東)でした。
和室から洋式のテーブル席
での対局戦は好評でした。

大会結果 (敬称略)

【Aクラス】8段~2段

優勝 矢野仁志郎 (五箇荘東)
準優勝 金井 弘之 (新金岡東)
第3位 原田 俊 (西百舌鳥)

【Bクラス】初段~3級

優勝 中島 富雄 (金岡)
準優勝 西川 治 (新金岡東)
第3位 辻 伸和 (東三国丘)

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



と～つてもかんたん こんにやくづくり 体験セミナー

女性部会長 岸田百合子



講師：山口慶子



ぬるま湯を準備



出来上がりは
みんなで楽しく試食



刺身こんにやくも
酢みそで頂きました！

「と～つてもかんたん」を開催いたしました。参加者六十五名、熱気でいっぱいでした。自分で作るから、楽しい、おいしい。原料もこだわって、国内産有機こんにやく芋を使用しました。おでんやみそ田菜を思い浮かべる人も多いでしょう。ヘルシーで食物繊維たっぷり、お肌にも良く、おなかの中もきれいにしてくれる、健康に良い食材です。

さすが主婦、ベテランの方々です。要領も良く、約一時間半で出来上がり。各テーブルで歓声が上がリ、隣のテーブルと見比べ。六十五名の方々の絆を深めることができ、厚くお礼申し上げます。

今後、新しい企画に取り組んでいこうと、役員一同、恵心努力してまいります。

こんにやくづくりの一部を紹介

アウ(石灰乳)を加え
素早くかき混ぜ



こんにやく粉を少しずつ
加えながら混ぜ混ぜ
そしてしばらく放置



パット等に移して
形を整えて…



固まったら取り出し
上手に切り分けて…



北区老人クラブ連合会の
演芸大会は上期と下期に分
けて年二回の開催を続けて
います。今年の上期演芸大
会はライフガーデンで八月
六日に行いました。
当日は気温が三十七度の
猛暑でしたが、皆さん暑さ
に負けず元気に、朝九時か
ら午後四時三十分までの長
時間楽しんでいただき、ま
た、ご来賓の方々、竹山修
身堺市長、北側一雄衆議
院議員、吉田功北
区長、奴井和幸府
会議員の応援もい
たとき、出演者の



心を結ぶ演芸大会

演芸部会長 中谷 吉雄

7ページに
詳細記事掲載

元気な歌声が響きわたり、時間が流れるのも忘れるほど、皆さんがくつろがれた様子が伝わってきたような思いがしました。

演芸大会の場は人と人とのつながり、絆をより一層深めていく場でもありません。そして、うれし

いことに演芸部全員がご参加してくださった方々に対しまして、心から喜んでもらえるよう一丸となって進行してもらった結果が成功につながったものと実感しております。反省する点もあつたかと思いますが、反省するところは無駄にすることなく、次に生かしていきたいと思っております。

当日の出演者が八十七名、それに応援に参加された方を含めます



と二〇〇名の皆さんに演芸会を盛り上げてもらい、ただただ感謝の思いでいっぱいです。これから

からも年を重ねても、お互いに立ち止まることなく、皆さんのご協力を願いながら明るく楽しい演芸部を持続していくことを心掛けて、演芸部全員で、皆さんのご期待に少しでも沿えるよう頑張ってまいります。

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています

第53回 北区老連 お楽しみ演芸大会



出演者インタビュー



川端 孝司さん
(五箇荘)

「少し上がりました」と照れつつも、「花板」を見事熱唱。カラオケ以外にも囲碁やバンパーなど積極的に老人クラブ活動に参加する一方、奥さまの厚子さんとダイビングやパラグライダーを楽しむアクティブな川端さん。この日は「九官鳥」を歌い上げた厚子さんの応援にも力が入りました。



水主川 亜矢子さん
(西百舌鳥)

「かわいい!」「きれい!」、応援の仲間から黄色い声援が飛んだ水主川さん。「夫婦のほのほのした歩みを歌えたら」と、優しい桃色の着物姿で「夕陽坂」を可憐に歌いました。習字や琴、踊りなどお稽古大好き。“生涯一生徒”の言葉を胸に、これからも学び続けたいと力強く語ってくれました。

八月六日、ライフガーデンさかいホールにおいて、第五十三回堺市北区老人クラブ連合会お楽しみ演芸大会が開催され、八十五名のカラオケ愛好者が集結し、自慢の歌声を披露しました。
こだわりの衣装に身を包んだ出演者たちが、仲間の応援に乗って熱唱を繰り広げる中、今回もリクエストに応え

て来賓の吉田区長がマイクを握り、美声を披露。満場の拍手と歓声で、会場のムードは一気に盛り上がりました。
そして今回大トリを飾ったのは、社会長による「河内おとこ節」。軽快なリズムに合わせて女性陣が元気いっぱい踊り出し、にぎやかな祭りムードが漂う中、演芸大会は無事幕を下ろしました。



増田 安廣さん
(百舌鳥)
(写真・前列中央)

「お酒が入れば、もうちょっとまじに歌えたかな?」。おどけて語る増田さん。今年4月、梅北町健友会第1クラブの会長に就任。仲間が見守る中、「母ちゃんの浜唄」を披露しました。35歳で始めたソフトボールを今も続けるスポーツマンで、会員思いの、少し照れ屋な新会長です。

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています

会 員 投 稿



月下美人

金岡校区

池野 和雄



とある日、老人クラブ副会長を訪ねたところ、玄關先に大きなつぼみのついた花の木が置かれてあって、初めは何だか分からなく、通り過ぎたが、後に「この

花、何の花？」とお尋ねしたところ、かの有名な「月下美人」と教えられ、初めて見る花ですので、この花はカレンな花で、夜中に咲いて四、五時間で萎むと聞いていた。「いつごろ咲くの？」と聞き、「せいひ咲くのを見たい」と言いつつ、まだ一週間は先」と言われ、お願いをして帰りました。しかし、気になってまた二、三日後に訪れたが、あと二日はかかると聞き、安心して帰った。二日後の夕食後に、八時ごろ急に「今夜咲く」と言われ、早速カメラを持ち急ぐと、見るとなるほど七分咲き。大きさいい、花びらの大きさに、また開いた格好は格別。

近所の人も交えて、花を見ながら雑談を交えて、時間が過ぎるのを忘れた。満開を待つ有名な花だけに、なかなか開かず、副会長の家族の迷惑も考え、人をいら立たせ、本当に人騒がせな花ですなと大笑い。

最後に十一時すぎに、これが満開とシャッターを切り満足。翌日訪れたら、午前三時寝んでいたとのこと。

でも近所の人々とのふれあいの和が広がり、有意義な一夜であつてよかつたと感じました。このようなことがあつてこそ、近所の和が広がっていくことを願って生きたいものです。

日々、幸せを感じながら

五箇荘東校区 安藤 鈴子

時の過ぎるのは早い。今日も過ぎていく一日一日の早いこと。お正月だと騒いだのにもう五月。桜、梅、桃と今年は一緒に見えました。でも菜の花は咲いています。田のふちや道の隅にも黄色い花をなびかせてくれています。強くけなげに咲く菜の花が好きです。緑

と黄色の色の美しさ、これは日本ならではの眺めです。平和であればこそありがたさです。

戦争中は花より団子でした。ナス、キュウリ、南瓜と、植えて食べることに一生懸命の時代でした。今の若い人に分かってもらえぬことがありません。現在

あるのはそうだった人たちのおかげで、私たちは花をめで、美しいと感じ生きていられるのです。話が少々湿っぽくなりました。

青空の下、グラウンドゴルフをさせてもらっています。私たち仲間八十歳以上の女性が三名います。三嬢、といわれそうです。

「私、婆なんていや、3ガールズでいこう」と言いました。その通り、元氣ももりです(笑)。いろいろ役員の方や、若い方のお世話で頑張っています。幸せ

の限りです。月・水・金、雨さえ降らねば、寒いことも暑いことも忘れて、八時から十一時すぎまで身体を動かす、きれいな空気に触れ、皆さんのニュースやよもやま話で笑って勉強させてもらいます。最高年齢九十歳をすぎた方もおられます。一番元氣がと思います。

その方はやはり私と違って常に身体を動かし、努力されています。私もそんな人たちに付いて行きたたく頑張っています。

七月十五日、何げなくつ

けたテレビで、びわ湖ポー ト一周に挑むが放送されていました。最初から涙なしでは見る事ができないほどでした。友との友情、人生のあり方すべてが映し出され、私は八十三歳ですが、船を動かす人は八十歳近い人たちも多く、病に打ち勝ち、また元々となつた友の写真を胸に、一人一人が神の子でした。びわ湖といえど、三日、四日はかかるそうです。体力も精神力も伴わなければ、できることではありませぬ。一周し終え

たときあの言葉、あの表情、本当に涙なしでは見られませんでした。京都大学のボート部の部長として、一生の友といえる人に巡り会えたこと、うらやましくうれしく見させてもらいました。こんな人たちはばかりだと戦いもなく、平和で世の中が送れるのにと感動しきりで、今日あること勉強させてもらいました。



18才 と 81才

東三国丘校区老人クラブ連合会

- *道路を暴走するのが 18 才、逆走するのが 81 才
- *心がもろいのが 18 才、骨がもろいのが 81 才
- *偏差値が気になるのが 18 才、血糖値が気になるのが 81 才
- *受験戦争を戦っているのが 18 才、アメリカと戦ったのが 81 才
- *恋に溺れるのが 18 才、風呂で溺れるのが 81 才
- *まだ何も知らないのが 18 才、もう何も覚えていないのが 81 才
- *東京オリンピックに出たいと思うのが 18 才、東京オリンピックまで生きていたいと思うのが 81 才
- *自分探しの旅をしているのが 18 才、出掛けたまま分からなくなって皆が探しているのが 81 才
- *「嵐」というと松本潤を思い出すのが 18 才、鞍馬天狗の嵐寛寿郎を思い出すのが 81 才

最近、551の「蓬莱」の常務に聞いた。「このごろ、あんたんとこの豚まん、ちょっと小さくなったんちゃうか」と聞けば、「あんたの手が大きくなったんや」と答える。「ちょっと味が落ちたんちゃうか」と聞けば「あんたの口が肥えたんでっせ」と答えよる。
～お後がよろしゅうようで～

わが郷里の変貌を顧みて



東三国丘校区 市川 光

私は大正十四(一九二五)年に、当時の黒土村で生まれました。振り返りますと九十年余りの歳月が経ちました。

まず、昭和四(一九二九)年には、阪和電鉄(現在のJR阪和線)が天王寺一和泉府中間の営業を開始することになりました。

そして三年後の昭和七(一九三二)年には、大阪城近くにあった騎兵隊(中部第二五部隊)が、現在の長尾中学の場に移転、以後次々と近畿中央胸部疾患センターの地に輻重隊(輻重兵隊四連隊、また警察学校、金岡公園周辺には大阪陸軍病院金岡分院、糧秣廠)。

なお、大阪労災病院付近には馬場(馬がつかがれている場所)があり、その敷地面積は全部で十六万三千坪の膨大な広さで、軍隊村と言われておりました。



輻重隊 当時の兵舎と兵隊(輻重隊転営記念絵はがきより)

現在の堺市駅(当時の金岡駅)を東に行くくとすぐ右側に幼稚園がありますが、その建物が(軍隊の警察)憲兵隊の兵舎で、兵隊たち



元輻重隊兵舎跡 現在は近畿中央胸部疾患センターの玄関



輻重隊(輻重兵隊四連隊)当時の門柱の片側のみ保存風景 当時の場所跡

が大変恐れておりました。昭和十二(一九三七)年七月七日の支那事変の勃発とともに、軍隊村の騎兵隊、輻重隊の兵舎から出兵と帰還兵の出入りが頻繁に行われるようになり、私は当時小学校六年生でしたが、国防婦人会や在郷軍人会の方々にまじって、夜遅くから明け方まで見送りと出迎えに行動を共にいたしました。

友に抱かれた白木の箱が目に映り、早く戦争が終わればと思いつつも当時は口に出すことができず、ついに私の家にも赤紙が届き、昭和十九(一九四四)年九月五日に山口県の柳井に入隊することにしました。

厳しい訓練と命がけの軍隊生活も、中国の上海郊外で、昭和二十(一九四五)年八月十五日に終戦の日を迎え、翌年の二十一年一月、無事復員して自宅に帰って

きました。自宅近くの元軍隊村の兵舎の外壁は、アメリカ風の明るい色になり替えられ、

二戸、また公園金岡団地として昭和三十一年に六七五戸、昭和三十二年に二二五戸、総数九〇〇戸、そしてこの新しい住宅の中の小学校が昭和三十三年四月、東三国丘小学校として開校されました。その後、現在まで二回新しい住宅団地としてよみがえっております。

私の少年時代は近くに軍隊村があり、兵舎から聞こえてくる起床ラッパで目を覚ますほどで、また軍人が隊列を組んで軍歌を歌いながら行進する風景は日々見ることができました。なお兵舎の西側、現在の南長尾町、東三国丘町一帯の練兵場で馬上から軍刀を振りかざして勇ましい騎兵隊と、それとは変わって、日曜日の外出で楽しいはずの家族とのひとときを過ごしているにもかかわらず、上官が家族の目の前で兵隊に「ピント」を行う悲しい場面を目にいたしました。

回想と老後

五箇荘東校区 森 信子

大泉緑地の近くの墓地に運動のために、夫と二人で義父母の墓参りに歩いて行くことにした。九十に近い夫と、八十を過ぎ膝と腰痛に悩む私は、途中何度も休みながら、最終の休みに公園のベンチに腰をかけ、ふと空を見上げると、晴れ渡った空に一つの雲が浮かび、その雲がさまざま形状と化していく。あるときは動物に、またあるときは人

間にと、その変化の目まぐるしさは美しくもまた異様でもあるが、見ている飽きることはない。一日中でも私は見ているのである。こうして二人して六半口の道程を休みながらでも歩けることに感謝している。

思えば老後に向けて二人とも必死に働いてきた。そのおかげで今の体があり、心にゆとりもあるが、そのために子どもたちもどれほど犠牲になり、寂しい思いをさせたことが。今、振り返るとかわいそうなことをしたと思うけれど、くれもせず、まあまあ人並みに育ってくれたことに感謝する。思えば今から三十年前、義父母が今の私たちの年齢のころはカラオケもなく、何の娯楽もなかった。唯一テレビだけが両親にとっての楽しみだった。知らない土地に来て、周囲の人たちとの交流もなく、私たちがまた、働くだけが精いっぱい心で心のゆとりがなくなつた。さぞ寂しかったらうと

思う。両親の年齢になった今、私たちがつとあの頃のことを思うと、ほんにすまない思いが募るが、痛いと言えはあらゆる病院にも連れて行き、入院すれば日曜のたびに病院に通い、その間で来てほしいと電話があれは、仕事に遅れても行き、するべきことは人並みにしてきたと自負する。苦しいとき誰か助けてと心で叫ぶが、誰一人助けて代わってくれることはなかった。私たちがやがては子どもも福祉にお世話になるときはもう近い。そうになったとき、

誰が私たちをみてくれるのだろうか。願いはただ一つ、「ピンコロ」で去りたいと思っただけれど、人生そう甘くはないだろう。それよりも、今日一日健康でいられますようにと願う。

命の続く限り、今は健康で「カラオケ」に「ディスコ」にその他諸々、日々を楽しくしている私たち夫婦。これからは欲を言わず、今日一日、どうぞ健康でいられますようにと願わずにはいられない。もしどちらかが倒れたら、こうしてはいられないのだから。

朝鮮戦争の終結とともに、アメリカ兵の本国帰還によって軍隊村の敷地が順次日本に返還され、公共施設として生まれ変わりました。日本で最初の住宅団地として脚光を浴び、昭和二十九年には三八四戸、総数五

十年には三三〇戸、総数五

堺でホタルを！ ホタルの乱舞を！

百舌鳥校区
ホタル研究家 岡本 欣也

野分(のわけ)のわけ(台風)が通り過ぎた朝、しばらくは秋のような風が吹きます。台風5号が異例の寿命を保ちながら各地で被害をもたらした通り過ぎた朝、幼いころを思い出しました。ちょうど中学生のこ

ろ、台風の次の日は決まって涼しく、ため池からは小さな魚が近くの川にあふれ出てきた。私は網が流されないように工夫しながら目の前のその魚たちを捕りました。

昭和三十年代後半までは私の周りは自然豊かで、農業用水路の両横には草木がいつぱい茂り、モズの鳥が巣をかけた。小さなワンドにはタイコウチ、メダカ、タガメ、ミスカマキリ、ゲンゴロウがウヨウヨいた。ニサンサイ古墳の樋から流れ出る水路とツレンシ川との合流地点はきれいな石畳きの川底で、その左手が竹やぶで、右の土手が田ん

ぼで、ホタルやハグロトンボ、カトリヤンマにオニヤンマ、魚はナマズ、タナゴ、モロコにドジョウがいた。とにかく、いろんな生き物が生息していて、よく捕って遊んだものです。

滝畑タムの完成間近に、ダム近隣の川でホタルが絶滅するかもしれないとの危機感から、ぜひホタルを救いたいという思いが湧き、淡水魚とホタルの養殖を思い至って、早速自力で近所の川にいた魚等を集めて餌い始めました。市内菅原神社から偶然頂いたホタルの卵をかえして、自宅の庭でそのホタルが飛んだときの感動と達成感は、その後、

新聞やテレビの取材へと発展して、しばらく続きました。

堺市津久野下水処理場はじめ滋賀県、和歌山県、大阪府内など近畿一円で、ホタルの養殖などにアドバイスを続けてきました。堺の自然を知ってもらいたいと、小学校や府民センター「私の水辺」(泉北地域交流会)ではミニ水族館を展示したり、自然保護教室など子ども向けの講演を続けています。府内でのホタルの保護に協力しているので、JR山中溪でホタルの保護を継続している人は、私を「ホタル博士」と呼んでくれます。求められれば、

昆虫や川魚についていつでも何にでもアドバイスをし、必要な援助を続けています。

私の夢は今の子どもたちが自然に興味を持ち、今ある自然を保護して、次の時代へとつないでくれることです。四十年以上のホタル養殖研究とその成果を認めていただき、五年前に堺市の推薦で環境省から表彰していただきました。それを機にますます堺市でのホタルの養殖や自然保護に力が入っていますが、皆さんが私を「ホタル博士」として本当に認めてくれるまで、もう一踏ん張りします。なんせ、

今年六月のある日、堺市の川で信じられないほど多くのホタルを見つけました。そのとき、堺市のみならず一緒にホタルの乱舞を見るという夢が再び湧いて強くなってきました。その区切りまで、まだ、やり続けま

す。毎年、自然を守り、保護するために地域や企業、小・中学校・幼稚園で、ミニ水族館の展示や講演等を実施し続けています。近々、十一月四日(北区交流まつり)で、堺市生涯学習のテントで身近な生き物たちの展示をする予定です。来年、みんなでホタルの乱舞を見に行きませんか。

会員文芸

俳句

西百舌鳥校区 坂口喜久子
青柿や少年達の顔黒し
影の濃き木の実草の実河内晴

中百舌鳥校区 古下美恵子
急坂に一ト息入れし風光る

中百舌鳥校区 坂本 茂子
赤とんぼダンスの如く舞にけり
しなやかに揺れあふ庭の秋桜
手土産の葡萄嬉しと頬張る子



中百舌鳥校区 山本三智子
桑の実と祖谷の吊り橋二人旅
簾越し眺む月あり古墳あり

金岡校区 池野 和雄
卒寿来て子孫祝いで目頭が
物忘れ人と比べて安堵する
持命より金と相談する命

ボケたなあ言った自分もそれ以上
仏壇に供えて忍ぶ亡き妻を



短歌

新浅香山校区 山本 勝子
巢立つ子の列長々と続きおり
拍手の中に面持ちかたかく

ブルドーザーの思うまま皮はぐ如く
緑消え区画整理の始らんとす
過去追いて春の匂いの吉野に在れば
雪舞うごとくに桜花のふりたり

喜寿むかえ息子に連れられハルカスに
姉弟揃って祝宴うけたり
地下鉄を出でし私の影法師
のどかな月にゆく春惜しまん



小説

穏やかな風が吹いている。

(1)

光電寺校区 田畑 具伸

初めにお断りしておきますが、この物語はフィクションであり、登場人物は架空の人物です。



四月中頃この季節、寒くもなく暑くもない昼寝をするには幾らでもできる。安田真七十八歳大学を中退したが、平均的な学生より成績は良く、品格もあり、残された人生にも情熱的に「めで、明るく、元気に」をモットーにしていた。だが、十年前、熟年離婚して

「挨拶をされたので解ったことだが、その町内の老人会会員で、とても歌がうまかった。それに他の女性と違って目が輝いていて立ち居振る舞いにも気品を感じた。真は、この人にパートナーになってほしかったので、別れ際に携帯番号と連絡待ってます。」と書いて渡した。その日も次の日も連絡はなかった。後期高齢者の真でも恋の苦しさを今更ながら感じた。友人はその街の老人会会長をしているので電話番号を教えてくれるよう頼んだが、個人情報を出せないといわずげなく断られた。真はあい子とカラオケクラブで会って三日目の

の昼下がりに、テレビの前でうとうとして居た時、電話が鳴った。あい子からだった。真は嬉しさのあまり今すぐ会ってくれるよう頼んだ。あい子は快く返事してくれたので、あい子の近くの喫茶店エンジェルで二時に会うことを約束して電話を切った。真の心はウキウキルンルンで、一気に目が覚めた思いだった。エンジェルに着くと、あい子はまだ来ていなかった。午後の喫茶店はよく空いていたので、入り口から離れた奥の窓際に座った。ホットコーヒーを注文して暫くすると、お目当てのあい子が首にショールのようなものをまとい現れた。「こんにち

は」言葉をかけて手を差し出した。柔らかい彼女の手の感触がそこにあった。それに髪をセットして来てのようにはパツチリ決まっていた。目の輝きは相変わらずだった。真は熟年離婚したこと、建築会社を四十五年間経営して最後はパブル崩壊と長引くデフレで倒産破産したこと、現在は年金生活者であることを正直に話した。真の真摯な姿にほだされて、あい子も夫を一年前にガンで亡くした、二人の息子はそれぞれに家庭を持って孫も四人の女の子がいることを話した。

お互い後期高齢者なものと、会うのが二回目でもあることから、ギクシャクした雰囲気はなかった。真はあい子に提案した。お互いに誕生日に食事を招待することにしよう、あい子も同意して、私は四月と答えた。真は六月で早速今月中にあい子を真が食事会に招待することになり、近くのファミレスの小部屋を予約した。メインが和食系のこの店は、二近所の家族づれがお客さんとして多かった。あい子は他人の目を気にしていたが、幸い誰にも会うこともなく、また、個室での食事はリラックス出来て楽しかった。ファミレスを出て別れ際に真はあい子にあなたの声を聴きたいので毎日電話をくれるようお願いした。

翌日、夕食の後片付けが終わってからは定期便のようになり、あい子から真への電話が始まった。話の内容はまず、今日一日の出来事から嬉しかったこと、腹が立ったこと、誰それぞれにあって話したこと等々、一時間を優に超える長電話であい子は真の聞き上手に乗せられて気持ちよくおしゃべりをした。あい子は真の積極的な言動に戸惑いながらも嬉しかった。「相性の良い出会い」を感じ、前と違って日常の日々が何と無く充実している。夫を亡くして一人になりこのまま枯れていくのかと、ふと考えて居ただけに、人生二度目の青春が始まったような気分が二人の電話での会話にも「シババ」の会話はなかった。最近、真があい子に書いたラブレターの一部を紹介すると、

「愛するあい子へ」
貴女か私かどちらかが死ぬまで、ずっと貴女のことを身近に感じて居たい。楽しい時も苦しい時も
つづく

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています



第 41 回 堺市高齢者作品展

7月7日～11日の5日間
堺市立東文化会館2階ギャラリーにて開催

堺市各区から、書・絵画・手工芸・写真など約300点もの作品が並びました。堺市北区からは56点が出展され、多くの方々が会場に足を運びました。



原稿お待ちしております!!

◆原稿募集

詩、短歌、俳句、川柳をはじめ、単位クラブ・サークルの活動報告や体験談、随想や紀行文などおくるってご投稿ください。

◆原稿の注意点

原稿には住所、氏名、電話番号、所属校区名を明記の上、関連写真や資料などがあれば添付してください。なお、原稿や資料などは返却できません。また、編集の都合上、多少の修正や長文等はカットする場合があります。ご了承ください。

◆原稿締め切り

次号五十四号は、三月末発行となりますので、原稿締め切りは二月二十日となります。

◆投稿先

〒五四七・〇〇二六
大阪市平野区喜連西四丁目六・六九
「すこやか老友」編集 株博報社
☎〇六・六七九七・〇三八一

ご協賛いただいた皆様への御礼

本紙の発行にあたり、ご協賛いただきました皆さまに対しまして厚くお礼を申し上げます。長寿大国日本において、高齢者の架け橋となるような紙面づくりに、さらに努力いたします。

今後も倍旧のご厚誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

堺市北区老人クラブ連合会

私たちは、堺市北区老人クラブ連合会の活動を応援しています